

活用編 もくじ

活用編 もくじ.....	1
本書をお読みにする前に	4

1章 パソコンの機能を活用する.....5

1 テレビや外部ディスプレイを接続する.....	6
1 HDMI [®] 出力端子に接続する／取りはずす	6
2 表示を切り替える.....	8
2 サウンド.....	9
1 スピーカーの音量を調整する	9
2 マイクやヘッドホンを接続する.....	11
3 SSD.....	13
4 microSD メモリカードを使う – SD カードスロットー....	14
1 使える microSD メモリカードについて	14
2 microSD メモリカードをセットする／取り出す.....	15
5 USB／Thunderbolt™ 対応機器を使う	16
1 USB の常時給電と高速充電	17
2 USB 対応機器を取り付ける／取りはずす	19
6 LAN 機能を使う	20
1 無線 LAN で接続する	20
7 Bluetooth [®] 機能を使う	23
8 USB Type-C™ アダプターを使う	25
1 テレビや外部ディスプレイを接続する.....	25
2 USB 対応機器を使う	28
3 有線 LAN で接続する	30

9	USB Type-C™ アダプター RGB/LANコネクタタイプを使う	31
1	外部ディスプレイを接続する	31
2	有線LANで接続する	31
10	便利な機能	32
1	dynabook セットアップを使う	32
2	eco ユーティリティで省電力の設定をする	33
3	パネルオープンパワーオンを設定する	34

2章 認証機能を設定する 35

1	システムパスワードを設定する	36
1	ユーザーパスワードを設定する	38
2	スーパーバイザーパスワードを設定する	43
3	HDDパスワードを設定する	45
4	パスワード入力時の注意	47
2	WindowsパスワードとPIN	48
3	指紋認証を使う	50
1	指紋を登録する	50
2	指紋認証を行う	52
3	指紋データを消去する	53
4	顔認証を使う	54
1	顔の情報を登録する	54
2	顔認証を行う	55
3	顔データを消去する	55

3章 ワイヤレスWAN通信の設定..... 57

- 1 ワイヤレスWAN通信について 58
- 2 ワイヤレスWAN通信を行うには..... 59
 - 1 nanoSIMカードをセットする／取り出す..... 59
 - 2 無線通信機能を有効にする 62
 - 3 インターネットに接続する 64
 - 4 インターネットAPNの設定方法..... 66
- 3 通信ができないときは 68
- 4 ワイヤレスWAN通信に関する注意 69

付 録 71

- 1 USB Type-C™ アダプター、USB Type-C™ アダプター
RGB/LANコネクタタイプの仕様..... 72

本書をお読みになる前に

本製品を安全に正しく使うために、次のマニュアルも合わせてお読みください。

参照先	編名称	内容
『オンラインマニュアル』 または 当社ホームページ 「dynabook.com」	安心してお使い いただくために	本製品を使用する際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項について説明しています。 ※本製品を使用する前に、必ずお読みください。
	取扱説明書	各部名称や接続方法、電源の入れかた／切りかたなど、本製品の基本的な使用方法について説明しています。本製品を初期状態に戻す方法やサポート情報についても説明しています。

1 章

■ パソコンの機能を活用する

パソコン本体に用意されている、さまざまな機能について説明しています。



1

テレビや外部ディスプレイを接続する

1章

1 HDMI[®] 出力端子に接続する / 取りはずす

メモ

- HDMI[®] 対応機器すべての動作を保証するものではありません。
 - 接続する HDMI[®] ケーブルは、市販のものを使用してください。
 - HDMI[®] ケーブルは、HDMI[®] ロゴ () の表示があるケーブルを使用してください。
 - 1,920 × 1,080 ドット以上の解像度の出力には、ハイスピード HDMI[®] ケーブルを使用してください。なお、使用時には解像度の変更が必要です。解像度については、タスクバーの検索ボックス () で、「解像度」と入力して検索してください。
 - 表示可能な解像度はディスプレイにより異なります。
 - テレビや外部ディスプレイへの出力形式の設定は変更できます。
- 参照**▶ [「表示を切り替える \(8ページ\)」](#)
- 著作権保護された映像などをテレビや外部ディスプレイに表示するためには、HDCPに対応したテレビや外部ディスプレイを接続してください。

1 接続する

- 1 HDMI[®] ケーブルのプラグを、テレビまたは外部ディスプレイの HDMI[®] 入力端子に差し込む
- 2 テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れる
- 3 HDMI[®] ケーブルのもう一方のプラグを、パソコン本体の HDMI[®] 出力端子に差し込む

参照▶ パソコン本体の HDMI[®] 出力端子の位置『取扱説明書 1章 **1** 各部の名称』

メモ

- HDMI[®] 接続で、テレビまたは外部ディスプレイに映像を映しているとき、HDMI[®] ケーブルを抜いたあと、再度 HDMI[®] ケーブルを接続する場合は5秒以上間隔をあけてください。

□ 音声の出力をパソコン本体のスピーカーからテレビなどに切り替える





HDMI[®]ケーブルでテレビや外部ディスプレイを接続すると、自動的に音声の出力先がテレビや外部ディスプレイに切り替わります。

テレビや外部ディスプレイを接続しても音声が変わらない場合は、次の設定を行ってください。

メモ

- 手で音声の切り替えを行う場合、あらかじめ表示方法を [複製]、[拡張]、[セカンドスクリーンのみ] のいずれかに設定しておく必要があります。

参照▶ [「表示を切り替える \(8ページ\)」](#)

- 1 [スタート] ボタン () をクリックする
- 2 [Windows システムツール] → [コントロールパネル] をクリックする
- 3  [ハードウェアとサウンド] →  [サウンド] をクリックする
[サウンド] 画面が表示されます。
- 4 [再生] タブでテレビのアイコン () がある項目を選択し、[既定値に設定] ボタンをクリックする
- 5 [OK] ボタンをクリックする

この設定を行うと、パソコン本体から音声が出されなくなります。テレビや外部ディスプレイを取りはずし、パソコン本体からの音声出力に戻す場合は、手順 **4** で [スピーカー] を選択し、[既定値に設定] ボタンをクリックしてください。

2 取りはずす

- 1 HDMI[®] 出力端子から HDMI[®] ケーブルのプラグを抜く

2 表示を切り替える

FN キーを押したまま **F5** キーを押すと、表示装置を選択する画面が表示されます。



(表示例)

FN キーを押したまま **F5** キーを数回押し、目的の項目を選択すると、表示装置が切り替わります。

項目	概要
PC画面のみ	本体ディスプレイだけに表示します。
複製	本体ディスプレイと、テレビまたは外部ディスプレイの2つの表示装置それぞれに、同じ内容を表示します。
拡張	本体ディスプレイと、テレビまたは外部ディスプレイの2つの表示装置を、1つの画面として表示します。
セカンドスクリーンのみ	テレビまたは外部ディスプレイだけに表示します (本体ディスプレイには何も表示されません)。

メモ

- テレビ／外部ディスプレイと本体ディスプレイを同時表示させる場合は、同時表示の種類や設定に合った色数／解像度で表示されます。
- 表示を切り替えたとき、システムによって自動的に解像度を変更される場合があります。
- テレビ／外部ディスプレイに表示する場合、表示位置や表示幅などが正常に表示されない場合があります。この場合は、テレビ／外部ディスプレイ側で、表示位置や表示幅を設定してください。
- 拡張表示は、「タブレットモード」をオフに設定している場合のみ有効です。
- 映像を再生するアプリケーションを起動しているときは、表示装置を切り替えられません。
なお、ご使用の環境やアプリケーションにより複製表示、拡張表示での再生はサポートしていません。
- 著作権保護された映像を、HDMI[®]出力端子に接続したテレビ／外部ディスプレイに表示したい場合は、テレビ／外部ディスプレイだけに表示するよう設定してください。
- 省電力の設定によりテレビ／外部ディスプレイの表示が消えた場合は、キーあるいはタッチパッドの操作により表示が復帰します。スリープに移行した場合は、電源スイッチを押してください。表示が復帰するまで10秒前後かかる場合がありますが、故障ではありません。

1 スピーカーの音量を調整する

スピーカーの音量は、次の方法で調整できます。

音量はWindowsで制御しているため、Windows起動時や電源を切っているときは、音量変更はできません。

1 **FN** + **3** または **FN** + **4** キーで調整する


1 音量を小さくしたいときは **FN** + **3** キー、大きくしたいときは **FN** + **4** キーを押す



FN キーを押したまま **3** キーを押すたびに音量が小さくなり、**FN** キーを押したまま **4** キーを押すたびに音量が大きくなります。

2 音量ミキサーから調整する

1 章

パソコンの機能を活用する

1 通知領域の  アイコンを右クリックし、表示されたメニューから [音量ミキサーを開く] をクリックする

通知領域に  アイコンが表示されていない場合は、[スタート] ボタン () → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] → [システム音量の調整] をクリックしてください。

[音量ミキサー] 画面が表示されます。

2 各項目でつまみを上下にドラッグして調整する

[ミュート] ボタン () をクリックすると消音 (ミュート) になります。

スピーカー／ヘッドホン	本製品のスピーカー／ヘッドホンの音量を調整します。
システム音	Windowsのプログラムイベント (メッセージの表示、システムエラーなどの動作) で再生されるサウンド設定の音量を調整します。

 メモ

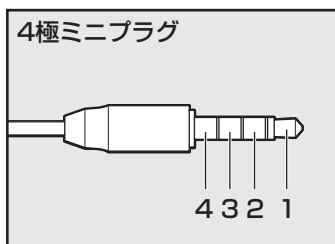
- インテル® ハイ・デフィニション・オーディオ準拠。
- キャプチャソフトなどを使用して、パソコンで再生中の音声を録音することはできません。

2 マイクやヘッドホンを接続する

1 使用できる端子の種類

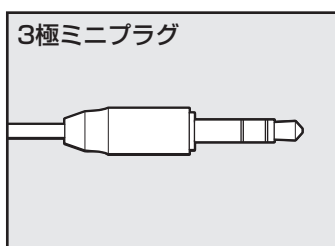
マイク入力/ヘッドホン出力端子に接続できる端子の種類は次のとおりです。

参照 ▶ パソコン本体のマイク入力/ヘッドホン出力端子の位置『取扱説明書 1章 **1** 各部の名称』



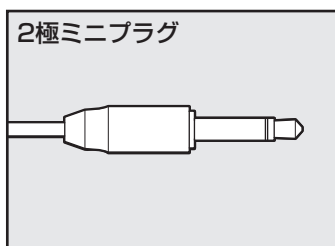
- プラグは直径3.5mm4極ミニプラグタイプが使用できます。
- 左図の数字は、次の内容を示します。
 - 1：ヘッドホン左
 - 2：ヘッドホン右
 - 3：グラウンド（マイク）
 - 4：マイク（グラウンド）
- 3ピンと4ピンのグラウンドとマイクは、本製品が自動識別します。
- マイク機能のみ、ヘッドホン機能のみを使用する場合、設定の変更を行う必要があります。

参照 ▶ [「マイク/ヘッドホンを選択する（12ページ）」](#)



- プラグは直径3.5mm3極ミニプラグタイプが使用できます。
- マイク、ヘッドホンが使用できます。
- 設定の変更を行う必要があります。

参照 ▶ [「マイク/ヘッドホンを選択する（12ページ）」](#)



- 直径3.5mm2極ミニプラグタイプのマイクでもマイク本体にバッテリーなどを搭載し、電源供給を必要としないマイクであれば使用できます。
- 設定の変更を行う必要があります。

参照 ▶ [「マイク/ヘッドホンを選択する（12ページ）」](#)

音声認識ソフトとあわせて使用する場合は、各アプリケーションの取り扱い元が推奨するマイクを使用してください。



すべてのマイク、ヘッドホン、ヘッドセットに対応するものではありません。

2 マイク／ヘッドホンを選択する

ご使用のマイク／ヘッドホンを選択します。

1 章

パソコンの機能を活用する

- 1 マイクまたは、ヘッドホンを接続する
- 2 [スタート] ボタン () をクリックする
- 3 [Realtek Audio Console] をクリックする
- 4 画面左側の [デバイス詳細設定] をクリックする
- 5  の横にあるプルダウンメニューからデバイスを選択する
- 6 [閉じる] ボタン (×) をクリックする

本製品には、補助記憶装置として、フラッシュメモリを記憶媒体とするドライブを搭載しています。SSD（ソリッドステートドライブ）とは、ハードディスクドライブの記憶媒体である磁気ディスクの代わりに、NANDフラッシュメモリを使用した大容量記憶媒体です。

SSDの補助記憶装置としての機能は、ハードディスクドライブと同等です。

以下の機能についてもご利用いただけます。

- **BIOSセットアップ**

BIOSセットアップ画面には「HDD/SSD」と表示されますが、SSDでも同様の動作をします。

- **HDDパスワード**

ハードディスクドライブ同様、登録可能です。

本体のSSDは、取りはずしできません。

USB接続型のハードディスクドライブなどを使用して記憶容量を増やすことができます。

本書および付属の説明書に記載されている「ハードディスク」、「HDD」、「SSD」は、SSDを指します。

お願い

- パソコンを激しく揺らしたり、強い衝撃を与えると、故障の原因となる場合があります。
- SSDに記録された内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証できません。
万が一故障した場合に備え、バックアップをとることを推奨します。

1 使える microSD メモリカードについて

- microSD メモリカード (microSDHC メモリカード、microSDXC メモリカードを含む) *1*2

*1 すべての記録メディアの動作を保証するものではありません。

*2 microSDIO カードには対応していません。

 メモ

- 新品の microSD メモリカードは、microSD メモリカードの規格に合わせてフォーマットされた状態で販売されています。

フォーマットとは、microSD メモリカードを usable 状態にすることです。

フォーマットされていないものをご購入した場合や再フォーマットをする場合は、microSD メモリカードを使用する機器 (デジタルカメラやオーディオプレーヤーなど) で行ってください。

2 microSD メモリカードをセットする／取り出す

お願い microSD メモリカードの使用にあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 ➔ microSD メモリカードを使うにあたって『取扱説明書』

1 セットする

1 microSD メモリカードの表裏を確認し、コネクタ部分（金色の部分）を下にして、SDカードスロットに挿入する


奥まで挿入します。


参照 ➔ パソコン本体のSDカードスロットの位置『取扱説明書 1章 1 各部の名称』

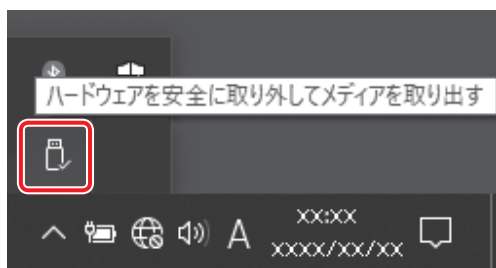
2 取り出す

microSD メモリカードに保存しているファイルを使用していたり、ウィンドウを開いたりしていると、取り出しができません。ファイルやウィンドウを閉じてから、操作を行ってください。

1 microSD メモリカードの使用を停止する

① 通知領域の[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す] アイコン() をクリックする

* 通知領域にアイコンが表示されていない場合は、  をクリックしてください。



(表示例)

② 表示されたメニューから取り出す microSD メモリカードの項目をクリックする

2 microSD メモリカードを押す

カードが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

USB / Thunderbolt™ 対応機器は、電源を入れたまま取り付け / 取りはずしができます。また、初めて接続する周辺機器を認識すると、システムがドライバーの有無をチェックし、自動的にインストールを行うプラグアンドプレイに対応しています。

USB / Thunderbolt™ 対応機器すべての動作を保証するものではありません。



お願い USB対応機器の操作にあたって

- USBコネクタに接続するとパソコン本体が浮き上がるような分厚いUSB対応機器の場合は注意して使用してください。パソコン本体のUSBコネクタに力が加わり破損するおそれがあります。

USBコネクタについて

USB3.1 (Gen1) 規格に対応したコネクタには、USB3.1 (Gen1) / USB3.0 / USB2.0 / USB1.1 対応機器を取り付けることができます。

Thunderbolt™ 3 (USB Type-C™) コネクタ (電源コネクタ) について

Thunderbolt™ 3 (USB Type-C™) コネクタ (電源コネクタ) には、USB3.1 (Gen2) / USB3.1 (Gen1) / USB3.0 / USB2.0 / USB1.1 対応機器を取り付けることができます。バッテリー充電中に、Thunderbolt™ 3 (USB Type-C™) コネクタ (電源コネクタ) へ使用電流の大きなUSB対応機器を取り付けると、バッテリー充電中であっても、バッテリーを消費する場合があります。

USBケーブルについて

市販のUSB対応機器を接続する場合は、パソコン本体に接続する側のプラグが、USB Type-C™ のものを使用してください。もし、USB Type-C™ ではない場合は、USB Type-C™ 変換アダプターなどが必要です。

参照 ▶ USB対応機器の詳細『USB対応機器に付属している説明書』

1 USBの常時給電と高速充電

* 常時給電/高速充電に対応しているモデルのみ

1 USBの常時給電

⚡アイコンが付いているUSBコネクタでは、パソコンがスリープ状態であれば常にUSBコネクタにUSBバスパワー（DC5V）を供給できます。また、休止状態、シャットダウン状態でも、パワーオフアンドチャージ機能を有効にすることで、USBバスパワーを供給できます。本機能を利用して、USBに対応する携帯電話や携帯型デジタル音楽プレーヤーなどの外部機器の使用および充電ができます。

* USBケーブルは本製品に含まれていません。別途ご使用の機器に対応したケーブルを準備してください。

なお、本機能はすべてのUSB対応機器の使用および充電を保証するものではありません。


お願い USBの常時給電について

- バッテリー駆動でスリープのUSB常時給電を使用すると、バッテリーの残量にかかわらず、パソコンの状態によって自動的に休止状態へ移行する場合があります。

パワーオフアンドチャージ機能はご購入時の設定では無効になっています。

使用するには「dynabook セッティング」で「パワーオフアンドチャージ」を有効にする必要があります。

設定方法

- 1 [スタート] ボタン () をクリックする
- 2 [dynabook セッティング] をクリックする
- 3 [USB給電] で [パワーオフアンドチャージ] を [有効] に設定する

「USB給電について」の表示方法

USBの常時給電についての詳細は、次の手順で確認できます。

- 1 USB対応機器を、パソコン本体のUSBコネクタに接続する
画面右下に、「パワーオフアンドチャージ」のメッセージが表示されます。
- 2 メッセージをクリックする
[USB給電について] 画面が表示されます。

2 USBの高速充電

⚡アイコンが付いているUSBコネクタでは、接続したUSB対応機器を高速に充電できます。

* USBケーブルは本製品には含まれていません。別途ご使用の機器に付属の高速充電に対応したケーブルを準備してください。

なお、本機能はすべてのUSB対応機器の充電を保証するものではありません。

■電源OFF、休止状態での高速充電について

接続するUSB対応機器とUSBケーブルが2.0A充電に対応している場合、パソコンが電源OFF、休止状態のときに、USBコネクタにUSBバスパワー（DC5V）を最大2.0Aまで供給し、短時間で充電できます。

本機能はご購入時の設定では無効になっています。

「パワーオフアンドチャージ」の設定を有効にすると本機能も有効になり、「自動モード」に設定されます。

参照 ▶ パワーオフアンドチャージを有効にする [「USBの常時給電（17ページ）」](#)

■システムON CDPチャージモードでの高速充電について

電源ON、スリープ状態時に、USBコネクタにUSBバスパワー（DC5V）を最大1.5Aまで供給し、短時間で充電できます。

本機能はご購入時の設定では有効になっています。

バッテリー駆動時間を長くしたいなどの理由で、本機能を使用しない場合は次の手順で本機能を無効にしてください。

1 [スタート] ボタン () をクリックする

2 [dynabook セッティング] をクリックする

「dynabook セッティング」が起動します。

3 [USB給電] で [システム ON CDPチャージモード] を [無効] に設定する

設定後、再起動が必要な場合があります。

2 USB対応機器を取り付ける／取りはずす

1 取り付ける

1 USBケーブルのプラグをUSB対応機器に差し込む

この手順が必要ない機器もあります。

参照▶ USB対応機器の詳細『USB対応機器に付属している説明書』

2 USBケーブルのもう一方のプラグを、パソコン本体USBコネクタまたはThunderbolt™ 3 (USB Type-C™) コネクタ (電源コネクタ) に差し込む


プラグの向きを確認して差し込んでください。


参照▶ パソコン本体のUSBコネクタやThunderbolt™ 3 (USB Type-C™) コネクタ (電源コネクタ) の位置
『取扱説明書 1章 1 各部の名称』

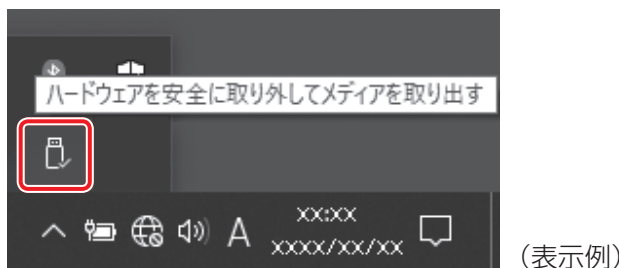
2 取りはずす

USB対応機器に保存しているファイルを使用していたり、ウィンドウを開いたりしていると、取り出しができません。ファイルやウィンドウを閉じてから、操作を行ってください。

1 USB対応機器の使用を停止する

① 通知領域の [ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す] アイコン () をクリックする

* 通知領域にアイコンが表示されていない場合は、  をクリックしてください。
この操作を行ってもアイコンが表示されないUSB対応機器は、手順 **2** に進んでください。



(表示例)

② 表示されたメニューから取りはずすUSB対応機器の項目をクリックする

2 パソコン本体とUSB対応機器に差し込んであるUSBケーブルのプラグを抜く

1 無線LANで接続する

* 無線LAN機能搭載モデルのみ

 警告

- 心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る
パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
 - ・ 無線通信機能は、**[FN]** + **[F8]** キーを押してOFFにすることができます。**[FN]** + **[F8]** キーを押して [機内モード オン] に設定してください。
 - ・ スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
 - ・ 電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
 - ・ ディスプレイを開くことで自動的に電源が入るパネルオープンパワーオン機能を設定している場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

お願い

- 『取扱説明書』に、セキュリティに関する注意事項や使用上の注意事項を説明しています。無線LANを使用する場合は記述をよく読んで、セキュリティの設定を行ってください。

参照 ▶ デイリーケアとアフターケア『取扱説明書』

1 無線LANアクセスポイントと接続する

1 無線LANアクセスポイントの電源を入れる

参照▶ 無線LANアクセスポイントの操作の詳細について
『無線LANアクセスポイントに付属している説明書』

2 パソコンの電源を入れ、パソコン本体の無線通信機能をONにする

[FN]キーを押したまま[F8]キーを押すたびに、無線通信機能のON/OFFが切り替わります。

機内モード オフ：無線通信機能ON

機内モード オン：無線通信機能OFF

3 通知領域の  アイコンをクリックする

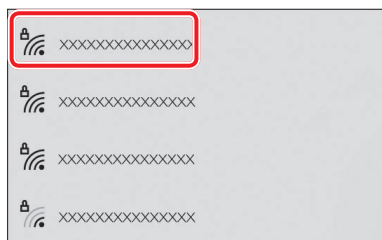
*通知領域にアイコンが表示されていない場合は、 をクリックしてください。

パソコンの周囲にあるワイヤレス ネットワーク（無線LANアクセスポイント）のSSIDの一覧が表示されます。

4 接続するワイヤレスネットワークをクリックする

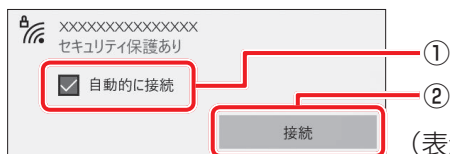
環境によっては、近隣で使用されているワイヤレスネットワークのSSIDが表示される場合があります。必ず目的のワイヤレスネットワークを選択してください。

以前接続したワイヤレスネットワークのセキュリティ情報がパソコンに記憶されている場合は、自動的に接続されます。



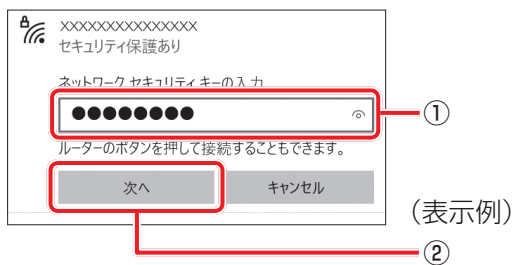
(表示例)

5 [自動的に接続] をチェックし①、[接続] ボタンをクリックする②



(表示例)

6 ネットワークセキュリティキーを入力して①、[次へ] ボタンをクリックする②



以降は、画面の指示に従って操作してください。

選択する項目、データ暗号化の方式、セキュリティキーなどは、正しく設定してください。正しく設定していない場合、無線LANアクセスポイントに接続できない場合があります。

参照 ▶ 『無線LANアクセスポイントに付属している説明書』

* Bluetooth[®]機能搭載モデルのみ

警告

- 心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る
パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
 - ・ 無線通信機能は、**[FN]** + **[F8]** キーを押してOFFにすることができます。**[FN]** + **[F8]** キーを押して「機内モード オン」に設定してください。
 - ・ スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
 - ・ 電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
 - ・ ディスプレイを開くことで自動的に電源が入るパネルオープンパワーオン機能を設定している場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

メモ

- Bluetooth[®]のバージョンによっては本製品と通信できないBluetooth[®]対応機器があります。本製品に搭載されているBluetooth[®]機能のバージョンについては、次の説明を確認してください。
参照 無線LAN／Bluetooth[®]について『準備／困ったときは編』
- 2.4GHz帯の無線LANが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。

1 Bluetooth®対応機器と接続する

1章

パソコンの機能を活用する

1 Bluetooth®対応機器の電源を入れ、Bluetooth®機能をONにする

参照▶ Bluetooth®対応機器の操作方法の詳細『Bluetooth®対応機器に付属している説明書』

2 **FN** + **F8** キーを押して、パソコン本体の無線通信機能をONにする

FN キーを押したまま **F8** キーを押すたびに、無線通信機能のON/OFFが切り替わります。

機内モード オフ：無線通信機能ON

機内モード オン：無線通信機能OFF

3 [スタート] ボタン () をクリックする

4 [設定] をクリックする

[設定] 画面が表示されます。

5 [デバイス] をクリックする

[デバイス] 画面が表示されます。

6 [Bluetoothとその他のデバイス] をクリックして、[Bluetooth] を [オン] に設定する

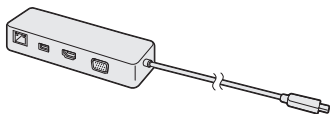
[オン] にすると、パソコン本体のBluetooth®機能がONになります。

7 [Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する] をクリックする

以降は、画面の指示に従って設定してください。

* USB Type-C™ アダプター付属モデルのみ

USB Type-C™ アダプターの取り扱いについて説明します。




参照 ▶ USB Type-C™ アダプターの各部名称、接続手順『取扱説明書』

1 テレビや外部ディスプレイを接続する

1 HDMI® 出力端子に接続する／取りはずす



メモ

- HDMI® 対応機器すべての動作を保証するものではありません。
- 接続するHDMI® ケーブルは、市販のものを使用してください。
- HDMI® ケーブルは、HDMI® ロゴ（**HDMI**®）の表示があるケーブルを使用してください。
- 1,920 × 1,080 ドット以上の解像度の出力には、ハイスピードHDMI® ケーブルを使用してください。なお、使用時には解像度の変更が必要です。解像度については、タスクバーの検索ボックス（）で、「解像度」と入力して検索してください。
- 表示可能な解像度はディスプレイにより異なります。
- テレビや外部ディスプレイへの出力形式の設定は変更できません。

参照 ▶ [「表示を切り替える（8ページ）」](#)

- 著作権保護された映像などをテレビや外部ディスプレイに表示するためには、HDCPに対応したテレビや外部ディスプレイを接続してください。

接続する

あらかじめ、パソコン本体にUSB Type-C™アダプターを接続しておいてください。

1章

パソコンの機能を活用する

1 HDMI® ケーブルのプラグを、テレビまたは外部ディスプレイのHDMI® 入力端子に差し込む

2 テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れる

3 HDMI® ケーブルのもう一方のプラグを、USB Type-C™アダプターのHDMI® 出力端子に差し込む

参照 ▶ HDMI® 出力端子の位置『取扱説明書 1章 **6** USB Type-C™アダプターを使う』

メモ

- HDMI® 接続で、テレビまたは外部ディスプレイに映像を映しているとき、HDMI® ケーブルを抜いたあと、再度HDMI® ケーブルを接続する場合は5秒以上間隔をあけてください。

音声の出力をパソコン本体のスピーカーからテレビなどに切り替える

HDMI® ケーブルでテレビや外部ディスプレイを接続すると、自動的に音声の出力先がテレビや外部ディスプレイに切り替わります。

テレビや外部ディスプレイを接続しても音声が変わらない場合は、次の参照先を確認し、設定を行ってください。

参照 ▶ [「音声の出力をパソコン本体のスピーカーからテレビなどに切り替える \(7ページ\)」](#)

取りはずす

1 HDMI® 出力端子からHDMI® ケーブルのプラグを抜く

2 RGB コネクタに接続する／取りはずす

メモ

- 接続するケーブルは、市販のものを使用してください。
- 表示可能な解像度はディスプレイにより異なります。
- 1,920 × 1,200 ドットは、Reduced Blanking 対応の外部ディスプレイでのみ表示可能です。
- 外部ディスプレイへの出力形式の設定は変更できます。

参照▶ [「表示を切り替える \(8ページ\)」](#)

- RGB 端子を備えたテレビへは、外部ディスプレイのように RGB ケーブルを使って表示することもできます。

参照▶ 本項目の説明と『テレビに付属している説明書』

接続する

あらかじめ、パソコン本体に USB Type-C™ アダプターを接続しておいてください。

- 1** 外部ディスプレイのケーブルのプラグを、外部ディスプレイの RGB コネクタに差し込む
- 2** 外部ディスプレイの電源を入れる
- 3** 外部ディスプレイのケーブルのもう一方のプラグを、USB Type-C™ アダプターの RGB コネクタに差し込む

USB Type-C™ アダプターの RGB コネクタには固定用のネジ穴はありませんが、プラグに固定用のネジが付いているタイプの外部ディスプレイケーブルも使用できます。

参照▶ RGB コネクタの位置『取扱説明書 1 章 **6** USB Type-C™ アダプターを使う』

取りはずす

- 1** RGB コネクタから外部ディスプレイのケーブルのプラグを抜く

2 USB 対応機器を使う

ユーエスビー

USB 対応機器は、電源を入れたまま取り付け／取りはずしができます。

また、初めて接続する周辺機器を認識すると、システムがドライバーの有無をチェックし、自動的にインストールを行うプラグアンドプレイに対応しています。

USB コネクタには、USB3.0／USB2.0／USB1.1 対応機器を取り付けることができます。

USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません。

参照 ▶ USB 対応機器の詳細『USB 対応機器に付属している説明書』

1 章

パソコンの機能を活用する

1 USB対応機器の取り付け／取りはずし

取り付け

あらかじめ、パソコン本体にUSB Type-C™アダプターを接続しておいてください。

1 USBケーブルのプラグを、USB対応機器に差し込む

この手順が必要ない機器もあります。

参照▶ USB対応機器の詳細『USB対応機器に付属している説明書』

2 USBケーブルのもう一方のプラグを、USB Type-C™アダプターのUSBコネクタに差し込む


プラグの向きを確認して差し込んでください。


参照▶ USBコネクタの位置『取扱説明書 1章 6 USB Type-C™アダプターを使う』

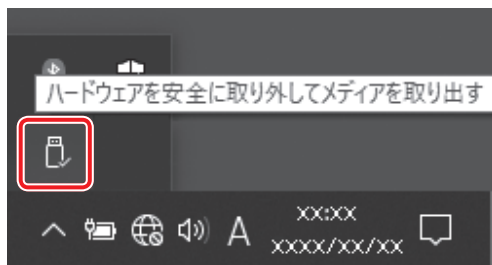
取りはずす

USB対応機器に保存しているファイルを使用していたり、ウィンドウを開いたりしていると、取り出しができません。ファイルやウィンドウを閉じてから、操作を行ってください。

1 USB対応機器の使用を停止する

- ① 通知領域の[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコン()をクリックする

* 通知領域にアイコンが表示されていない場合は、  をクリックしてください。
この操作を行ってもアイコンが表示されないUSB対応機器は、手順 **2** に進んでください。



(表示例)

- ② 表示されたメニューから取りはずすUSB対応機器の項目をクリックする

2 USB Type-C™アダプターとUSB対応機器に差し込んであるUSBケーブルのプラグを抜く

3 有線LANで接続する

1 章

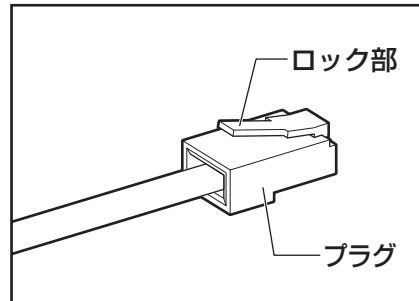
パソコンの機能を活用する

1 LANケーブルを接続する

あらかじめ、パソコン本体にUSB Type-C™アダプターを接続しておいてください。

LANケーブルをはずしたり差し込むときは、プラグの部分を持って行ってください。また、はずすときは、プラグのロック部を押しながらずしてください。ケーブルを引っ張らないでください。

LANケーブルは本製品には付属していません。市販のLANケーブルを購入してください。



1 パソコン本体またはUSB Type-C™アダプターに接続されているすべての周辺機器の電源を切る

2 LANケーブルのプラグを、USB Type-C™アダプターのLANコネクタに差し込む

ロック部の向きに注意して、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

参照▶ LANコネクタの位置『取扱説明書 1章 **6** USB Type-C™アダプターを使う』

3 LANケーブルのもう一方のプラグを、接続先のネットワーク機器のコネクタに差し込む

接続する機器により、以降の設定方法は異なります。

参照▶ 光回線終端装置の設定について『プロバイダーなどから送られてくる資料』

参照▶ ブロードバンドルーターの設定について『ブロードバンドルーターに付属している説明書』

動作状態を確認するには

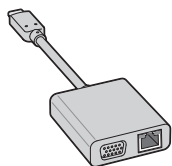
LANコネクタの両脇には、LANインターフェースの動作状態を示す2つのLEDがあります。

- **リンクLED (緑色) ***
ネットワークに正常に接続され、使用可能なときに点灯します。
- **LANアクティブLED (オレンジ色) ***
データを送受信しているときに点灯します。

* 本LEDは、データ通信可能な状態のときに有効です。その他の状態 (OSの起動時など) では、正しく表示されない場合があります。

* USB Type-C™ アダプター RGB/LANコネクタタイプ付属モデルのみ

USB Type-C™ アダプター RGB/LANコネクタタイプの取り扱いについて説明します。



参照 ➤ USB Type-C™ アダプター RGB/LANコネクタタイプの各部名称、接続手順『取扱説明書』

1 外部ディスプレイを接続する

1 RGBコネクタに接続する／取りはずす

USB Type-C™ アダプター RGB/LANコネクタタイプを使用してRGBコネクタに接続／取りはずす方法は、USB Type-C™ アダプターを使用する場合と同様です。

参照 ➤ RGBコネクタの位置

『取扱説明書 1章 **7** USB Type-C™ アダプター RGB/LANコネクタタイプを使う』

参照 ➤ [\[RGBコネクタに接続する／取りはずす \(27ページ\)\]](#)

2 有線LANで接続する

1 LANケーブルを接続する

USB Type-C™ アダプター RGB/LANコネクタタイプを使用して有線LANで接続する方法は、USB Type-C™ アダプターを使用する場合と同様です。

参照 ➤ LANコネクタの位置

『取扱説明書 1章 **7** USB Type-C™ アダプター RGB/LANコネクタタイプを使う』

参照 ➤ [\[LANケーブルを接続する \(30ページ\)\]](#)

10 便利な機能

1 章

パソコンの機能を活用する

1 dynabook セッティングを使う


「dynabook セッティング」では、次の機能をWindows上で設定変更できます。

- ecoユーティリティ
- USB 給電
- HDD プロテクション
- キーボード
- 起動オプション
- システムパスワード
- 高度な設定（各種デバイスおよび機能の設定）

* 搭載している機能または設定変更できる機能は、モデルによって異なります。

複数のユーザーで使用する場合も、設定内容は全ユーザーで共通になります。

設定方法

- 1 [スタート] ボタン () をクリックする
- 2 [dynabook セッティング] をクリックする
「dynabook セッティング」が起動します。
- 3 画面左側から機能を選択し、画面右側で各設定を行う

メモ

- システムパスワード（ユーザーパスワードやスーパーバイザーパスワード）を登録している場合、「dynabook セッティング」を起動すると、認証を求める画面が表示されます。パスワードで認証を行ってください。

ヘルプの起動方法

- 1 「dynabook セッティング」を起動後、[ホーム] で [サポートする機能について] をクリックする

2 ecoユーティリティで省電力の設定をする

「ecoユーティリティ」は、節電への貢献を総合的にサポートします。

■ecoモード

「ecoモード」をオンにすると、当社の推奨する設定によって、電源プランやディスプレイの明るさなどを自動的に調節して、消費電力をおさえます。

■貢献履歴

消費電力の低減によって、どれだけ環境の保護に貢献できたかが、イメージやグラフなどで表示されます。

一日ごと、または月ごとに確認できます。

■dynabook 省電力設定

「dynabook 省電力設定」を有効にすると、Windowsの Powerslider のモードに合わせて、本製品に適した電力制御を行います。

お願い

- 「ecoモード」がオンのときは、常に省電力制御を行います。

■eco充電モード

「eco充電モード」を有効にすると、バッテリーフル充電時の容量をおさえて、バッテリーの機能低下を遅くできます。パソコンの電源コードとACアダプターをコンセントに接続したまま使用される方におすすめです。ただし、バッテリーのフル充電の容量が少なくなるため、バッテリーでの駆動時間は短くなります。

■ピークシフト

昼間の電力消費の一部を夜間に移行させて電力を効果的に活用し、電力需要の平準化を実現します。たとえば夏期の日中など電力使用のピーク時間帯には自動的にAC電源からの電力供給を止め、電力需要の少ない時間帯（夜間など）に充電したバッテリーでパソコンを動作させる電源管理機能を備えています。

ピークシフト機能は、パソコン単体でも使用できますが、複数台数で同じ時間帯に制御することによってその効果を発揮します。制御するパソコンの台数は多ければ多いほど効果が大きくなります。

お願い

- ピークシフトをご利用の場合、自動的にバッテリー駆動に切り替わり、CPUやグラフィックアクセラレーターの性能が十分に発揮されない場合があります。
映像や音楽を視聴する場合、ピークシフトを一時的に無効にすることをおすすめします。




- 表示されるメニューは、モデルにより異なります。

1 章

パソコンの機能を活用する

起動方法

- 1 [スタート] ボタン () をクリックする
- 2 [dynabook セッティング] をクリックする
- 3 [ecoユーティリティ] で各項目を設定する

ヘルプの起動方法


- 1 [ecoユーティリティ] 画面で [ecoユーティリティについて詳しくはこちらをクリックしてください] をクリックする
「ecoユーティリティ」のヘルプが表示されます。



- モデルによっては、ピークシフト期間中やeco充電モードで規定値以上充電されると、バッテリーへの充電は一時的に停止されます。

3 パネルオープンパワーオンを設定する

パネルオープンパワーオン機能は、ディスプレイを開くと自動的にパソコンの電源が入る機能です。本機能の設定は、次の手順で変更できます。

- 1 [スタート] ボタン () をクリックする
- 2 [dynabook セッティング] をクリックする
- 3 [起動オプション] をクリックする
- 4 [パネルオープンパワーオン] の設定を変更する

2章

■ 認証機能を設定する

本製品を使用するときの、さまざまな認証機能の設定方法について説明しています。

1 システムパスワードを設定する

システムパスワードには次のものがあります。

- **ユーザーパスワード (BIOSパスワード)**
電源を入れるときや休止状態から復帰するときに、パスワードを入力しないと起動しません。
- **スーパーバイザーパスワード (BIOSパスワード)**
BIOS セットアップの設定を変更できないようにするなど、いくつかのパソコン本体の設定について制限をかけられます。スーパーバイザーが使用します。
- **HDDパスワード**
本体のハードディスクを保護します。電源を入れるときにHDDパスワードを入力しないと起動しません。万が一パスワードを忘れた場合、永久にハードディスクを使用できなくなる、非常に強固なセキュリティです。
HDDユーザーパスワードとHDDマスターパスワードがあります。

お願い

- パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、dynabook あんしんサポート 修理相談窓口にご連絡してください。
HDDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクは永久に使用できなくなりますので、有料にてハードディスクを交換します。
その他のパスワードの場合は、有料にてパスワードを解除します。その際、パスワードの種類によっては、お客様のデータが失われる場合があります。
またどちらの場合も、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要です。

メモ

- パスワードを登録した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えてください。
- パスワードを入力するときは、コード入力や貼り付け（ペースト）などの操作は行わず、キーボードの文字キーを押して直接入力してください。

パスワードに使用できる文字

ユーザーパスワード、スーパーバイザーパスワード、HDDパスワードに使用できる文字は次のとおりです。

アルファベットの大文字と小文字は区別されません。

使用できる文字	アルファベット (半角)	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
	数字 (半角)	0123456789
	記号の一部 (半角)	;.:. (スペース) など
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全角文字 (2バイト文字) ・ 日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】 漢字、カタカナ (全角/半角)、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など ・ 記号の一部 (半角) 【例】 ! (バーチカルライン) _ (アンダーバー) ¥ (エン) など ・ ほかのキー (SHIFT キーや CAPSLOCK 英数 キーなど) と同時に使用しないと入力できない文字 	

パスワード登録時に警告メッセージが表示された場合は、登録しようとした文字列に使用できない文字が含まれています。この場合、もう一度別の文字列を入力し直してください。警告が表示されない場合も、上記「使用できない文字」に該当する文字は使用しないでください。また文字列は必ずキーボードから1文字ずつ直接入力してください。

1 ユーザーパスワードを設定する

ユーザーパスワードは、「dynabook セッティング」で設定します。




- ユーザーパスワードは、BIOSセットアップの次の項目から設定することもできます。
 - ・ [Security] メニューの [BIOS Password] の [User]

参照 ▶ BIOSセットアップの詳細『BIOS編』

1 ユーザーパスワードの登録

ユーザーパスワードを登録する手順を説明します。モデルによっては、HDDユーザーパスワードもあわせて登録できます。

- 1 [スタート] ボタン () をクリックする
- 2 [dynabook セッティング] をクリックする
- 3 [システムパスワード] で [登録] ボタンをクリックする



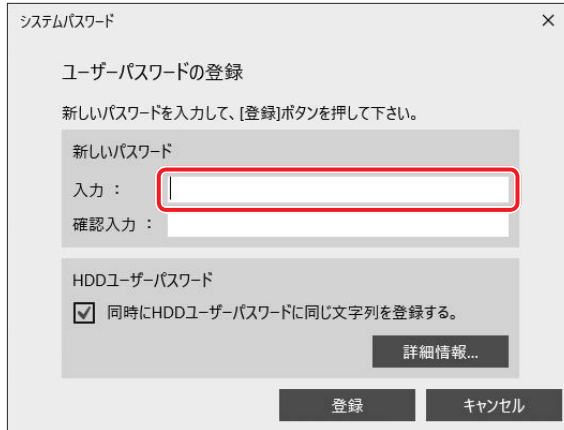
(表示例)

[ユーザーパスワードの登録] 画面が表示されます。

4 [入力:] にパスワードを入力する

パスワードは50文字以内で入力します。

参照 ▶ パスワードに使用できる文字について [「パスワードに使用できる文字 \(37ページ\)」](#)



(表示例)

5 [確認入力:] にもう一度パスワードを入力する

■ [同時にHDDユーザーパスワードに同じ文字列を登録する。] 項目が表示されている場合

[同時にHDDユーザーパスワードに同じ文字列を登録する。] にチェックがついている場合、ここで設定したユーザーパスワードがHDDユーザーパスワードとしても登録されます。

ユーザーパスワードのみ登録する場合は、チェックをはずしてください。

参照 ▶ HDDパスワードについて [「HDDパスワードを設定する \(45ページ\)」](#)

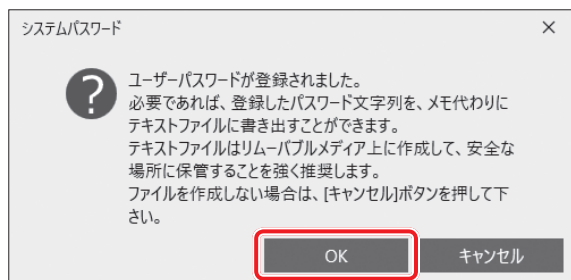
6 [登録] ボタンをクリックする

手順 **5** で [同時にHDDユーザーパスワードに同じ文字列を登録する。] をチェックしている場合は、メッセージが表示されるので、メッセージの内容を確認して、[はい] ボタンをクリックしてください。

パスワードの文字列をファイルとして保存しておくことを推奨するメッセージが表示されます。

7 パスワードファイルを作成する場合は [OK] ボタンをクリックする

パスワードファイルを作成しておけば、パスワードを忘れた場合、本機または本機以外の機器でパスワードを確認することができます。



(表示例)

パスワードファイルを作成しない場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。[OK] ボタンをクリックすると、[名前を付けて保存] 画面が表示されます。

8 パスワードファイルを作成する

パスワードファイルは、USBフラッシュメモリなどの記録メディアに保存することを強くおすすめします。

手順 **5** で [同時にHDDユーザーパスワードに同じ文字列を登録する。] をチェックしている場合、「今すぐコンピューターを再起動しますか?」というメッセージが表示されるので、[いいえ] ボタンをクリックしてください（ここでは再起動せず、手順の最後に再起動してください）。

9 必要に応じて、[パスワードの注釈:] を入力する

[パスワードの注釈] にはパスワードのヒントとなる文字列を登録できます。登録すると、パスワードの入力が必要なときに、登録した文字列が表示されます。

パスワード文字列そのものを登録しないでください。

使用できる文字列はユーザーパスワードと同様です。

参照 ▶ パスワードに使用できる文字について [「パスワードに使用できる文字 \(37ページ\)」](#)

10 [適用] ボタンをクリックする

手順 **5** で [同時にHDDユーザーパスワードに同じ文字列を登録する。] をチェックしている場合は、必ず電源を切る、または再起動してください。

お願い


- パスワードファイルを保存した記録メディアは、安全な場所に保管してください。

メモ

- パスワードを登録した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。
- ユーザーパスワードを登録すると、以後「dynabook セットアップ」を起動する際に、認証画面が表示されます。パスワードで認証を行ってください。

2 ユーザーパスワードの削除

ユーザーパスワードを削除するには、次の手順を実行してください。

- 1** [スタート] ボタン () をクリックする
- 2** [dynabook セッティング] をクリックする
認証画面が表示されるので、パスワードで認証を行ってください。
- 3** [システムパスワード] で [削除] ボタンをクリックする
[ユーザーパスワードの削除] 画面が表示されます。
- 4** [削除] ボタンをクリックする
- 5** メッセージの内容を確認し、[はい] ボタンをクリックする
認証画面が表示されるので、パスワードで認証を行ってください。
確認のメッセージが表示されます。
- 6** [OK] ボタンをクリックする
パスワードが削除されます。

3 ユーザーパスワードの変更

ユーザーパスワードを変更するには、次の手順を実行してください。

1 [スタート] ボタン () をクリックする

2 [dynabook セッティング] をクリックする

認証画面が表示されるので、パスワードで認証を行ってください。

3 [システムパスワード] で [変更] ボタンをクリックする

[ユーザーパスワードの変更] 画面が表示されます。

4 [入力:] に新しいパスワードを入力する

パスワードは50文字以内で入力します。

参照 ▶ パスワードに使用できる文字について [「パスワードに使用できる文字 \(37ページ\)」](#)

5 [確認入力:] にもう一度新しいパスワードを入力する

6 [変更] ボタンをクリックする

確認のメッセージが表示されます。

7 メッセージの内容を確認し、[はい] ボタンをクリックする

認証画面が表示されるので、パスワードで認証を行ってください。

ここでは、まだパスワードは変更されていないので、手順 **4**、**5** で入力したのではなく、その前に登録しておいたパスワードを入力してください。

パスワードが変更されます。

変更したパスワードの文字列をファイルとして保存しておくことを推奨するメッセージが表示されます。

8 パスワードファイルを作成する場合は [OK] ボタンをクリックする

パスワードファイルを作成しない場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

参照 ▶ ユーザーパスワードの登録の手順 **8** [「パスワードファイルを作成する \(40ページ\)」](#)

2 スーパーバイザーパスワードを設定する

スーパーバイザーパスワードは「dynabook セッティング」で設定します。

メモ

- 先にユーザーパスワードが登録されている場合は、スーパーバイザーパスワードの登録はできません。スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを両方登録する場合は、一度ユーザーパスワードを削除し、スーパーバイザーパスワードを登録してからもう一度ユーザーパスワードを登録してください。
- スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードでは、違うパスワードを使用してください。
- パスワードを登録した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。
- スーパーバイザーパスワードは、BIOSセットアップの次の項目から設定することもできます。
・ [Security] メニューの [BIOS Password] の [Supervisor]

参照 ➔ BIOSセットアップの詳細『BIOS編』

1 スーパーバイザーパスワードの登録、削除、変更

1 [スタート] ボタン () をクリックする

2 [dynabook セッティング] をクリックする

パスワードを登録している場合は、スーパーバイザーパスワードで認証を行ってください。

3 [システムパスワード] で画面右側をスクロールし、[高度な設定] 右の  をクリックする

スーパーバイザーパスワードが設定できるようになります。

スーパーバイザーパスワードの登録、削除、変更方法は、ユーザーパスワードと同様です。

なお、スーパーバイザーパスワードを削除すると、ユーザーパスワードも同時に削除されます。

2 一般ユーザーの操作を制限する

スーパーバイザーパスワードを登録すると、スーパーバイザーパスワードを知らないユーザーに対して、BIOS セットアップの管理などに制限を加えることができます。

スーパーバイザーパスワードを登録した状態で、次の手順を実行してください。

1 「dynabook セッティング」を起動する

認証画面が表示されるので、スーパーバイザーパスワードで認証を行ってください。

2 [システムパスワード] で画面右側をスクロールし、[高度な設定] 右の
▼ をクリックする

3 [ユーザーポリシー] の [設定] ボタンをクリックする

4 必要に応じて項目のチェックをはずす

5 [設定] ボタンをクリックする

6 メッセージが表示された場合は内容を確認し、[はい] ボタンをクリックする

認証画面が表示されるので、スーパーバイザーパスワードで認証を行ってください。

7 [OK] ボタンをクリックする

3 HDDパスワードを設定する

* HDDパスワード機能搭載モデルのみ

HDDパスワードは、BIOSセットアップで設定します。

1 注意事項

登録したパスワードの内容は、メモをとるなどして、安全な場所に保管しておくことを強くおすすめします。

お願い

- 万が一、登録したパスワードを忘れた場合、修理・保守対応ではパスワードを解除できません。この場合、ハードディスクは永久に使用できなくなりますので、有料にてハードディスクを交換します。ハードディスクが使用できなくなったことによる、お客様またはその他の個人や組織に対して生じた、いかなる損失に対しても、当社はいっさい責任を負いません。HDDパスワードの設定については、この点を十分にご注意いただいたうえでご使用ください。

2 HDDパスワードの種類

HDDパスワードには、次の2種類のパスワードがあります。

HDDマスターパスワードのみを登録することはできません。

両方のパスワードを登録するか、HDDユーザーパスワードのみを登録してください（モデルによって、HDDユーザーパスワードのみを登録できない場合もあります）。

■ HDDユーザーパスワード

各パソコンの使用者自身が設定することを想定したパスワードです。

■ HDDマスターパスワード

管理者などがパソコン本体の環境設定を管理／保守するために設定することを想定したパスワードです。

HDDマスターパスワードはHDDユーザーパスワードの代わりに使えます。HDDユーザーパスワードを忘れた場合でも、HDDマスターパスワードを入力してハードディスクにアクセスできます。

組織などでHDDマスターパスワードを用いた運用を検討した場合、各パソコンのユーザーに対してパソコン本体を配付する前に、あらかじめ管理者がBIOSセットアップでHDDマスターパスワードと仮のHDDユーザーパスワードを設定しておく必要があります。

1 システムパスワードを設定する

3 HDDパスワードの登録

HDDマスターパスワードとHDDユーザーパスワードの両方を登録する場合

[Security] メニューの [HDD/SSD Password] の [Master] にHDDマスターパスワードを設定し、続けてHDDユーザーパスワードの設定を行います。

[Master] が表示されていない場合は、[HDD/SSD Password] の [Mode] で [Master + User] を選択してください。

HDDユーザーパスワードのみを登録する場合

メモ

● モデルによって、HDDマスターパスワードのみの登録、HDDユーザーパスワードのみの登録はできない場合があります。

[Security] メニューの [HDD/SSD Password] の [User] にHDDユーザーパスワードを設定します。

参照 ▶ BIOSセットアップの詳細『BIOS編』

4 HDDパスワードの削除

HDDマスターパスワードの削除を行うと、同時にHDDユーザーパスワードも削除されます。HDDユーザーパスワードのみを削除することはできません。

HDDパスワードを削除する場合は、次の手順で行ってください。

- ① BIOSセットアップで、[Security] メニューの [HDD/SSD Password] の [User] または [Master] を選択する
- ② 登録してあるHDDパスワードを入力する
新しいパスワードを入力する画面が表示されます。
- ③ 何も入力しないで **[ENTER]** キーを押す

参照 ▶ BIOSセットアップの詳細『BIOS編』

5 HDDパスワードの変更

HDDパスワードを変更する場合は、HDDパスワードをいったん削除してから、新しいHDDパスワードを登録してください。

4 パスワード入力時の注意

ユーザーパスワード、HDDパスワードを入力するとき、続けて3回間違えると、自動的に電源が切れます。

パスワードを入力せずに約1分経過した場合も、自動的に電源が切れます。

その場合は、電源を入れ直してください。

お願い

- パスワード入力画面で自動的に電源が切れると、USB、スリープ解除タイマーからの許可によるWake-upができませんので、電源を入れ直してください。

Windowsにサインインするためのパスワード／暗証番号として、WindowsパスワードとPIN（4文字以上の英数字）が用意されています。

指紋認証や顔認証を使用する場合、あらかじめ、WindowsパスワードとPINの設定を行っておく必要があります。

お願い

- Windowsパスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口にご連絡してください。

メモ


- PINを忘れてしまったときは、Windowsパスワードでサインインしてください。
- WindowsパスワードやPINを登録した場合は、忘れたときのために必ずWindowsパスワードやPINを控えてください。
- WindowsパスワードやPINを入力するときは、コード入力や貼り付け（ペースト）などの操作は行わず、キーボードの文字キーを押して直接入力してください。

1 Windowsパスワードについて

Windowsにサインインするためのパスワードを、本マニュアルでは「Windowsパスワード」と呼びます。

管理者ユーザーのWindowsパスワードは、初めてパソコンを起動しWindowsセットアップを行う際に設定します。


Windowsパスワードの設定／変更方法

- 1 [スタート] ボタン () をクリックする
- 2 [設定] をクリックする
- 3 [アカウント] → [サインイン オプション] → [パスワード] をクリックする
- 4 画面の指示に従って、Windowsパスワードを設定／変更する

2 PINについて

Windowsパスワードの代わりに、PIN（暗証番号）を入力してWindowsにサインインできます。PINを設定するには、あらかじめ、Windowsパスワードの設定を行っておく必要があります。

PINの設定／変更方法

- 1 [スタート] ボタン () をクリックする
- 2 [設定] をクリックする
- 3 [アカウント] → [サインイン オプション] → [Windows Hello 暗証番号 (PIN)] をクリックする
- 4 画面の指示に従って、PINを設定／変更する

*指紋センサー搭載モデルのみ

「Windows Hello 指紋認証」を使用すると、指紋センサーに指紋を読み取らせることで、Windowsにサインインできるようになります。

WindowsパスワードやPINの代わりに、指紋の情報で、本人であることを認証する機能です。


お願い

- 登録できる指紋データは全ユーザー合わせて最大20本です。

1 指紋を登録する

指紋を登録する前に、指紋を登録するユーザーアカウントに対して、WindowsパスワードとPINを設定しておく必要があります。

参照 ▶ 設定方法 [「WindowsパスワードとPIN \(48ページ\)」](#)

- 1 指紋を登録するユーザーアカウントでサインインする
- 2 [スタート] ボタン () をクリックする
- 3 [設定] をクリックする
- 4 [アカウント] → [サインイン オプション] をクリックする
- 5 [Windows Hello 指紋認証] → [セットアップ] をクリックする
[Windows Hello へようこそ] 画面が表示されます。
- 6 [開始する] をクリックする
[ユーザーを確認しています] 画面が表示されます。
- 7 [PIN] にPINを入力する
[指紋センサーにタッチ] 画面が表示されます。

8 指紋センサーに指紋を読み取らせる

指紋は数回スキャンする必要があります。

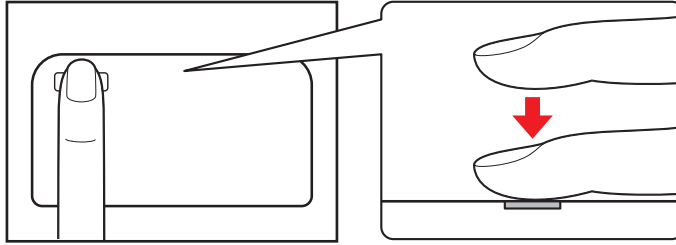
[次は別の角度で行ってください] 画面が表示された場合は [次へ] をクリックし、[すべて完了しました。] 画面が表示されるまでスキャンしてください。

続けてほかの指紋を追加する場合は、[別の指を追加] をクリックしてください。



メモ 指紋センサーに指紋をうまく読み取らせるには

- 指紋センサーに対して指をまっすぐ出し、指を寝かせた状態で、指紋センサーの中央に当て、離してください。



9 [すべて完了しました。] 画面が表示されたら、[閉じる] をクリックする



メモ

- [閉じる] をクリックして登録を終了後、ほかの指紋を追加する場合
 - ① [サインインオプション] で [他の指紋を追加] をクリックする
 - ② 手順 **6** からの操作を繰り返す

2 指紋認証を行う

登録した指紋を指紋センサーに読み取らせることで、Windowsへサインインできます。

- 1 ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）やサインインを求められている画面で、登録した指紋を指紋センサーに読み取らせる認証されるとメッセージが表示されます。
Windowsにサインインします。


ユーザーパスワードの代わりに指紋で認証を行う（起動認証／シングルサインオン）

起動認証とは、パソコンの起動時に、ユーザーパスワードの代わりに、指紋認証を使用できる機能です。

また、シングルサインオンを有効にすると、起動認証後にWindowsにも自動的にサインインすることができます。シングルサインオンは、起動認証時に使用したWindowsのアカウントで行われます。

- ① ユーザーパスワードを登録する


参照▶ [\[ユーザーパスワードの登録 \(38ページ\)\]](#)

- ② [スタート] ボタン () をクリックする
- ③ [dynabook セッティング] をクリックする
認証画面が表示されるので、ユーザーパスワードで認証を行ってください。
- ④ [システムパスワード] の [起動認証設定] で、有効にしたい項目にチェックを付ける
「変更した設定を反映するにはパソコンの再起動が必要です。」というメッセージが表示されたら、[はい] を選択してください。パソコンが再起動されます。

モデルによっては、設定後2回目以降の起動から、起動認証が動作します。

3 指紋データを消去する

パソコンを捨てたり人に譲ったりする前に、登録した指紋データを消去してください。指紋データの消去は、次のように行ってください。

- 1 [スタート] ボタン () をクリックする
- 2 [設定] をクリックする
- 3 [アカウント] → [サインイン オプション] をクリックする
- 4 [Windows Hello 指紋認証] → [削除] をクリックする

お願い 指紋データの消去にあたって

- 指紋データは、ユーザー（アカウント）ごとの消去が必要です。

*顔認証センサー搭載モデルのみ


「Windows Hello 顔認証」を使用すると、顔認証センサーに顔の情報を読み取らせることで、Windowsにサインインできるようになります。

WindowsパスワードやPINの代わりに、顔の情報で、本人であることを認証する機能です。

1 顔の情報を登録する

顔の情報を登録する前に、顔の情報を登録するユーザーアカウントに対して、WindowsパスワードとPINを設定しておく必要があります。

参照 ▶ 設定方法 [「WindowsパスワードとPIN \(48ページ\)」](#)

- 1 顔を登録するユーザーアカウントでサインインする
- 2 [スタート] ボタン () をクリックする
- 3 [設定] をクリックする
- 4 [アカウント] → [サインイン オプション] をクリックする
- 5 [Windows Hello 顔認証] → [セットアップ] をクリックする
[Windows Hello へようこそ] 画面が表示されます。
- 6 [開始する] をクリックする
[ユーザーを確認しています] 画面が表示されます。
- 7 [PIN] にPINを入力する
顔認証センサーに映った画像が表示されます。
- 8 顔認証センサーの正面に顔を向ける
参照 ▶ 顔認証センサーの位置『取扱説明書 1章 1 各部の名称』
顔認証センサーをまっすぐ見続けてください。
[すべて完了しました。] 画面が表示されるまで、そのままお待ちください。
- 9 [すべて完了しました。] 画面が表示されたら、[閉じる] をクリックする


2 顔認証を行う

顔の情報を登録すると、顔認証センサーに顔を向けることで、Windowsへサインインできます。

- 1 ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）やサインインを求められている画面で、顔認証センサーの正面に顔を向ける
認証されるとメッセージが表示されます。
Windowsにサインインします。

3 顔データを消去する

パソコンを捨てたり人に譲ったりする前に、登録した顔データを消去してください。
顔データの消去は、次のように行ってください。

- 1 [スタート] ボタン () をクリックする
- 2 [設定] をクリックする
- 3 [アカウント] → [サインイン オプション] をクリックする
- 4 [Windows Hello 顔認証] → [削除] をクリックする



3章

■ ワイヤレスWAN通信の設定

* ワイヤレスWAN機能搭載モデルのみ

ワイヤレスWAN通信を行うための設定について説明しています。

2 ワイヤレスWAN通信を行うには

1 nanoSIMカードをセットする／取り出す

ワイヤレスWAN通信を行う場合、本製品に nanoSIMカードをセットします。
nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカード(SIMカード)です。
『nanoSIMカードに付属の説明書』もご確認ください。

警告

- nanoSIMカードを取りはずしている場合は、カードを乳幼児の手の届かないところに保管する
誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万が一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

お願い

- nanoSIMカードのセット／取りはずしを行う際は、キズや破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上に本製品を置いて作業を行ってください。
- nanoSIMカードのセット／取りはずしを行う際は、あらかじめデータを保存し、本製品の電源を切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
データ消失、故障のおそれがあります。
- SIMカードトレイを本製品にセットする際は、無理な力を加えず、慎重に行ってください。
本製品の動作が不安定になったり、nanoSIMカード、SIMカードトレイが破損するおそれがあります。
- nanoSIMカードのIC部分（金色の部分）には触れないでください。静電気により、データ消失、故障のおそれがあります。

メモ

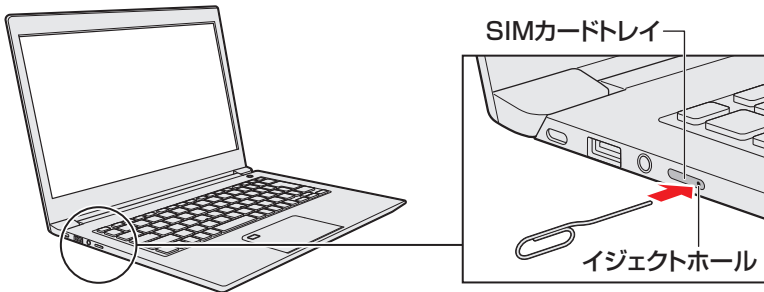
- nanoSIMカードの紛失、盗難、破損については、ご契約された通信事業者へお問い合わせください。

nanoSIMカードをセットする

注意

- クリップなどを使う場合は、取り扱いに十分注意する
先端のとがった部分でけがをすることがあります。

- 1 データを保存し、**SHIFT**キーを押しながら【シャットダウン】をクリックして電源を切る
- 2 電源コードとACアダプター、その他のケーブル類を本製品から取りはずす
- 3 SIMカードトレイのイジェクトホールを、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押す

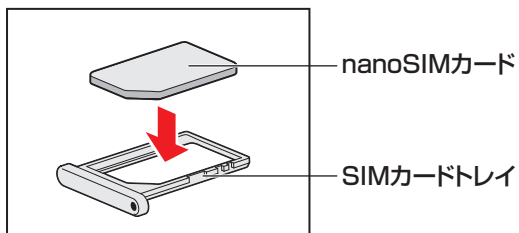


SIMカードトレイが少し出てくるので、手で引き出します。

4 SIMカードトレイにnanoSIMカードをセットする

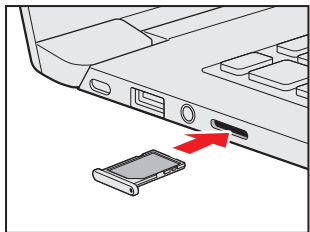
IC部分（金色の部分）を下に向け、角が欠けている部分を手前にして、SIMカードトレイにセットしてください。

nanoSIMカードは、前後や表裏を確認してください。イラストと異なる向きでセットしないでください。



- 5** nanoSIMカードがSIMカードトレイに正しくセットされていることを確認して、SIMカードトレイをゆっくり差し込む

nanoSIMカードが正しくセットされていないと、ワイヤレスWAN通信はできません。



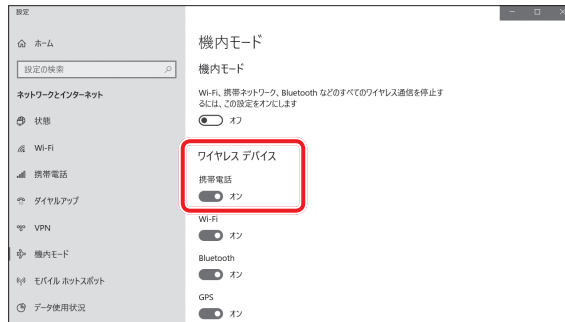
nanoSIMカードを取り出す

- 1** データを保存し、`[SHIFT]` キーを押しながら `[シャットダウン]` をクリックして電源を切る
- 2** 電源コードとACアダプター、その他のケーブル類を本製品から取りはずす
- 3** SIMカードトレイのイジェクトホールを、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押す
SIMカードトレイが少し出てくるので、手で引き出します。
- 4** nanoSIMカードを取り出す
- 5** SIMカードトレイをゆっくり差し込む

5 「ワイヤレス デバイス」の [携帯電話] を [オン] に設定する

[オフ] になっている場合は、[オン] にしてください。

[オン] にすると、ワイヤレスWAN 機能がON になります。



(表示例)

以降の設定は、[「インターネットに接続する \(64ページ\)」](#)を参照してください。

2 接続の切断方法

[携帯電話] 画面で、ネットワーク名の下に表示されている [切断] ボタンをクリックしてください。切断されることを確認してください。

3 接続設定の確認方法

[携帯電話] 画面で、[詳細オプション] をクリックしてください。設定内容を確認してください。

4 インターネットAPNの設定方法

APNの設定方法には、[設定] 画面から設定する方法と Wi-Fi® 一覧画面から設定する方法の2つがあります。ここでは、[設定] 画面から設定する方法について説明します。

1 [設定] 画面からAPNの設定をする

1 [スタート] ボタン () をクリックする

2 [設定] をクリックする

[設定] 画面が表示されます。

3 [ネットワークとインターネット] をクリックする

4 [携帯電話] をクリックする

5 [携帯電話] 画面に表示されている [詳細オプション] をクリックする

6 [APNを追加します] をクリックする



(表示例)

7 APNを設定する

プロファイル名、APN、ユーザー名、パスワード、サインイン情報の種類、IPの種類、APNの種類を入力後に保存すると、APNの設定が保存されます。



- [APNの種類] には、[インターネットおよびアタッチ] を選択してください。
[インターネットおよびアタッチ] を選択できない場合は、[インターネット] を選択してください。

設定

⊙ APN

プロファイル名

APN

ユーザー名

パスワード

パスワード

サインイン情報の種類

なし

IPの種類

既定

APNの種類

インターネット

このプロファイルを使用する

保存

(表示例)

3

通信ができないときは

通信ができないときは、次のような流れで確認してください。

nanoSIMカードが正しくセットされていることを確認する

参照▶ [「nanoSIMカードをセットする／取り出す \(59ページ\)」](#)

無線通信機能を有効にする

参照▶ [「無線通信機能を有効にする \(62ページ\)」](#)

通信圏外でないことを確認する

参照▶ [「インターネットに接続する \(64ページ\)」](#)

インターネットの接続設定を確認する

参照▶ [「インターネットに接続する \(64ページ\)」](#)

インターネットのAPN設定を確認する

参照▶ [「インターネットAPNの設定方法 \(66ページ\)」](#)

本製品について

本製品の取り扱い・設定などのご相談は、dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口にお問い合わせください。

ワイヤレスWAN通信の設定について

本製品のリカバリー（再セットアップ）を行った場合は、無線通信機能やインターネットのAPNに関する設定がご購入時の状態に戻ります。

本製品の修理時のご注意

- 修理の際にお客様からお預かりできるのは本製品のみです。
nanoSIMカードはお手元に大切に保管してください。
- 修理期間中も、ご契約された通信事業者が提供する各種サービス料金は発生します。ご了承ください。

ワイヤレスWAN通信を使用しなくなった場合

次の場合は、nanoSIMカードの解約や返却が必要です。解約や返却については、ご契約された通信事業者へお問い合わせください。

- 廃棄／譲渡（売却を含む）などで本製品を使わなくなったとき
- 本製品に搭載されているワイヤレスWAN通信を使用しなくなったとき



付録

付属品の仕様について説明しています。

1

USB Type-C™アダプター、USB Type-C™アダプター RGB/LANコネクタタイプの仕様

* USB Type-C™アダプター付属モデルのみ

製品名	USB Type-C™アダプター
外形寸法 (突起部含まず)	約122.0 (幅) × 44.5 (奥行) × 20.5 (高さ) mm
質量	約100g

* USB Type-C™アダプター RGB/LANコネクタタイプ付属モデルのみ

製品名	USB Type-C™アダプター RGB/LANコネクタタイプ
外形寸法 (突起部含まず)	約70.0 (幅) × 53.0 (奥行) × 17.0 (高さ) mm
質量	約52g